

総合学習の支援（水生生物調査の実施）

豊橋河川事務所では水質の指標となる生物の生息状況から河川の水質を判定し、継続的に実施することで水質の変化を知るために水生生物調査を実施しています。また、水生生物調査を豊川、矢作川流域の小中学校の「総合的な学習の時間」（総合学習）において実施することで、調査を通じて川そのものや河川の水質への興味・理解を深めていただくことを目的としています。

今回は6月24日（水）に、設楽町立清嶺小学校3・4年生7名、新城市立舟着小学校4年生9名、豊橋市立大村小学校4年生25名とともに水生生物調査を実施しました。場所は豊川下流部の左岸11.8km付近（下条橋上流地点）です。

調査内容は、①パックテスト（COD、pH、DO（溶存酸素）、NH₄（アンモニウム）、PO₄（リン酸）の計測）による簡易水質調査、②透視度計による水の濁りの調査、③水生生物による水質調査の3つを実施しました。

簡易水質調査では子供達がパックテストを実施しました（写真-1）。結果は、CODが5になり「汚れが多い」との判定になりました。また、オレンジジュース1滴（1ml）を1L（1000ml）の河川水に入れた場合にはCODが50程度となり、わずか1滴のジュースであっても、食べ物を川に捨てることにより川が汚れてしまうことを子供達は学びました。

透視度計による調査では、子供達が透視度計を覗き最下部にある二重線で十字を書いた印を確認しました（写真-2）。結果は「透視度100cm以上」になりました。

水生生物調査では、子供達は元気に川に入り水生生物を採取しました（写真-3、写真-4）。結果は、「きれいな水」のヒラタカゲロウ、ヤマトビゲラ、「ややきれいな水」のヒラタドロムシ、カワナナなどが採取され、「きれいな水」と判定された班と「ややきれいな水」と判定された班がありました。

当事務所は、引き続き豊川・矢作川流域での水生生物調査を実施していきます。



写真-1 パックテスト



写真-2 透視度計による調査



写真-3 水生生物調査



写真-4 水生生物調査